

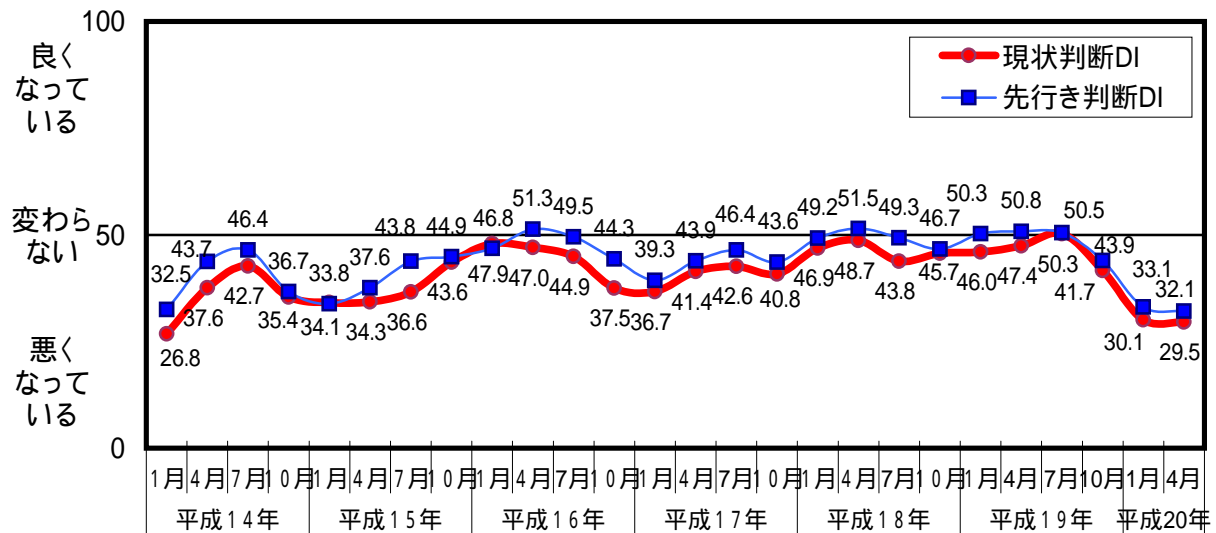
青森県景気ウォッチャー調査 (平成20年4月期)

調査期間 平成20年4月1日～4月21日 回答率99%

概 況

4月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DI共に前期を下回り、3期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成20年5月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が5.1ポイント増加し、「やや良くなっている」が4.0ポイント減少したことにより、全体では0.6ポイント減の29.5となり、3期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、一部において前年ベースよりややアップしたという声が見られるが、エネルギー・購入諸資材価格上昇によるコスト上昇分の製品価格への転嫁が思うように進まないことや食料品等の値上がりが多く購買力が低下しているという意見があった。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で1.7ポイント増加したが、企業関連で5.6ポイント、雇用関連で10.7ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽、下北地区においてポイントが増加したが、東青、県南地区ではポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が3.0ポイント減少し、「悪くなる」が3.0ポイント増加したことにより、全体では前期を1.0ポイント下回る32.1となり、3期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、値上りした灯油を消費するシーズンを越したことや観光シーズンの到来に期待する声が見られるが、景気が回復する要素が見当たらないという意見や、更なる物価上昇への懸念や先行き不安により消費マインドが上がらないという声が見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連で0.7ポイント増加したが、企業関連で7.0ポイント、雇用関連で3.6ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽、県南地区においてポイントが増加したが、東青、下北地区ではポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	47.4	50.3	41.7	30.1	29.5
家計関連	45.5	50.0	39.5	30.4	32.1
小売	43.3	45.8	38.8	26.7	37.1
飲食	43.2	50.0	29.2	33.3	33.3
サービス	47.1	54.8	46.3	30.6	25.9
住宅	54.2	50.0	33.3	45.0	33.3
企業関連	52.8	51.4	50.0	30.6	25.0
雇用関連	53.6	50.0	42.9	25.0	14.3

回答別構成比(%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなっている	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	15.3	24.2	13.1	9.1	5.1
変わらない	62.2	54.5	49.5	24.2	29.3
やや悪くなっている	15.3	19.2	28.3	44.4	44.4
悪くなっている	6.1	2.0	9.1	22.2	21.2

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	50.8	50.5	43.9	33.1	32.1
家計関連	49.0	51.0	42.2	33.1	33.8
小売	45.0	48.3	41.4	24.2	34.5
飲食	45.5	52.1	31.3	37.5	41.7
サービス	54.8	54.8	48.1	39.8	28.7
住宅	50.0	45.8	41.7	40.0	37.5
企業関連	56.9	47.2	48.6	30.6	23.6
雇用関連	53.6	53.6	50.0	39.3	35.7

回答別構成比(%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなる	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	21.4	22.2	15.2	8.1	9.1
変わらない	62.2	57.6	54.5	34.3	31.3
やや悪くなる	14.3	16.2	21.2	39.4	38.4
悪くなる	2.0	3.0	9.1	18.2	21.2

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	46.7	49.2	41.7	30.0	25.8
家計関連	46.7	47.8	40.2	30.4	29.3
小売	44.4	44.4	38.9	25.0	38.9
飲食	58.3	50.0	33.3	25.0	25.0
サービス	44.4	52.8	44.4	33.3	25.0
住宅	50.0	37.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	50.0	50.0	56.3	31.3	18.8
雇用関連	41.7	58.3	33.3	25.0	8.3

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	20.0	10.0	6.7	0.0
変わらない	70.0	56.7	56.7	30.0	30.0
やや悪くなっている	16.7	23.3	23.3	40.0	43.3
悪くなっている	3.3	0.0	10.0	23.3	26.7

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	40.0	46.7	34.2	28.3	32.5
家計関連	36.4	47.7	31.8	30.7	31.8
小売	27.8	41.7	27.8	25.0	36.1
飲食	33.3	41.7	25.0	50.0	33.3
サービス	46.9	56.3	40.6	28.1	28.1
住宅	37.5	50.0	25.0	37.5	25.0
企業関連	45.8	50.0	37.5	25.0	37.5
雇用関連	62.5	25.0	50.0	12.5	25.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	16.7	0.0	10.0	3.3
変わらない	60.0	60.0	53.3	20.0	36.7
やや悪くなっている	20.0	16.7	30.0	43.3	46.7
悪くなっている	13.3	6.7	16.7	26.7	13.3

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	57.1	53.4	50.0	37.1	30.2
家計関連	55.3	53.8	47.5	37.5	35.0
小売	58.3	52.8	50.0	36.1	40.6
飲食	37.5	50.0	41.7	41.7	33.3
サービス	50.0	54.2	50.0	35.7	21.4
住宅	75.0	62.5	37.5	50.0	62.5
企業関連	60.7	50.0	57.1	35.7	21.4
雇用関連	62.5	62.5	50.0	37.5	12.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなっている	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	35.7	34.5	31.0	13.8	13.8
変わらない	50.0	44.8	37.9	31.0	13.8
やや悪くなっている	7.1	20.7	31.0	44.8	51.7
悪くなっている	3.6	0.0	0.0	10.3	20.7

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	45.0	55.0	40.0	15.0	30.0
家計関連	44.4	52.8	38.9	13.9	33.3
小売	41.7	41.7	41.7	8.3	25.0
飲食	41.7	58.3	16.7	16.7	41.7
サービス	50.0	58.3	58.3	16.7	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	50.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0
変わらない	80.0	60.0	50.0	0.0	50.0
やや悪くなっている	20.0	10.0	30.0	60.0	20.0
悪くなっている	0.0	0.0	10.0	40.0	30.0

(2) 3か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	49.2	49.2	42.5	33.3	29.2
家計関連	47.8	48.9	41.3	35.9	33.7
小売	44.4	50.0	47.2	30.6	30.6
飲食	50.0	50.0	33.3	33.3	58.3
サービス	52.8	47.2	36.1	41.7	30.6
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	25.0
企業関連	56.3	56.3	50.0	25.0	18.8
雇用関連	50.0	41.7	41.7	25.0	8.3

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなる	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	16.7	13.3	6.7	10.0
変わらない	46.7	56.7	56.7	36.7	26.7
やや悪くなる	23.3	20.0	16.7	40.0	33.3
悪くなる	3.3	3.3	13.3	16.7	30.0

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	49.2	50.8	42.5	30.8	33.3
家計関連	45.5	51.1	39.8	29.5	33.0
小売	41.7	50.0	36.1	19.4	38.9
飲食	41.7	58.3	25.0	50.0	50.0
サービス	50.0	53.1	50.0	31.3	18.8
住宅	50.0	37.5	37.5	37.5	37.5
企業関連	62.5	45.8	45.8	33.3	33.3
雇用関連	50.0	62.5	62.5	37.5	37.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	13.3	20.0	16.7	6.7	3.3
変わらない	73.3	66.7	46.7	30.0	43.3
やや悪くなる	10.0	10.0	26.7	43.3	36.7
悪くなる	3.3	3.3	10.0	20.0	16.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	52.7	50.9	48.3	36.2	37.9
家計関連	52.6	52.5	46.3	35.0	40.0
小売	47.2	47.2	40.6	22.2	43.8
飲食	37.5	50.0	41.7	41.7	33.3
サービス	62.5	62.5	57.1	46.4	35.7
住宅	62.5	50.0	37.5	50.0	50.0
企業関連	50.0	42.9	53.6	32.1	21.4
雇用関連	62.5	62.5	50.0	62.5	75.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	25.0	31.0	17.2	13.8	17.2
変わらない	60.7	44.8	62.1	34.5	27.6
やや悪くなる	14.3	20.7	17.2	34.5	44.8
悪くなる	0.0	3.4	3.4	17.2	10.3

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	55.0	52.5	40.0	30.0	20.0
家計関連	52.8	52.8	41.7	30.6	22.2
小売	50.0	41.7	41.7	25.0	8.3
飲食	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
サービス	58.3	66.7	58.3	41.7	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
変わらない	80.0	70.0	50.0	40.0	20.0
やや悪くなる	0.0	10.0	30.0	40.0	40.0
悪くなる	0.0	0.0	10.0	20.0	40.0

4 . 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	県南	百貨店	前年ベースよりややアップ。春物好調に推移するも4月以降各種値上げの影響心配。
			コンビニ	若干、良くなりつつも、他の商品等の値上がりが多く、まだまだお客様の購入傾向は低い。目的買いが見られる。
			住宅建設販売	2、3月はおお客様の来場が少なかったが、4月に入って少し動きが出てきた。
変わらない	家計	東青	観光名所等	観光地としては、客数が増え始め、にぎやかになってきてはいるが、食料品やその他の商品の値上がりが多く、購買力が低下している気がする。
			パチンコ	自社に限って言えば、売上げ、利益とも横ばいである。
			スーパー	一部ガソリンの値下等もありましたが、先行き不透明な部分があり、値上は継続して実行されている為。
			衣料専門店	昨対比から見ると良好な売上です。昨年12月は暖冬で防寒物が苦戦。過去に例の無い売上減でした。消費者が年明けのセールを見越し買い控えしたからです。その結果セールが始まる1月は防寒物が売上が良好でした。2月まで勢いは続きました。3月は暖冬で降雪が少なく道路事情が良くお客様の移動条件がよかったことから売上は二桁の伸び率でした。そのような状況から景気動向に正確な判断ができなかった。そこで「変わらない」の回答でした。
			一般飲食店	先の見通しが無い。
			競輪場	車券売上に反映していない。入場者が少ない。
			家電量販店	売上の前年割れが続いている。
			乗用車販売	昨年暮れから新車の話が出にくくなっていて、お客様の買い控えがあるような気がする。
		津軽	百貨店	生活防衛の意識がますます強くなっているように感じられる。
			観光型ホテル・旅館	客単価が上がらず、支出を抑える傾向が依然として見られるから。
			観光名所等	雪が少なかった。(排雪の軽減が多かった。)
			スーパー	原油の値上に伴い、食料品全般的に値上。お客様の買い控えが目立つ。その結果、客数前比90%、買い上げ点数も平行で90%です。
			スナック	客足が悪い。
			一般小売店	悪かった3ヶ月前からさらに悪くなったとは考えにくい。
			県南	レストラン
設計事務所	景気の悪さに慣れ、このまま良くなるのではと思う。友人・知人で景気が良い人は無し。「景気が悪い悪い」と言っている人が多い。			

現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	県南	観光型ホテル・旅館	宿泊数は微増にとどまっている。一方で、昨今の値上げラッシュが影を落としている。	
			下北	スーパー	売上が全体的に不振の継続。
			レストラン	4月1日よりガソリンは値下げしたが、食に対しては目に見えて値上りしている。	
			一般飲食店	景気の悪いのは変わっていません。	
			ガソリンスタンド	相変わらず、日々のお客様との会話の中でも全くと言っていい程、景気が良かった話を聞かない。	
	企業	津軽	電気機械製造	円高の影響も今のところはあまり受けていません。受注量は変わらず推移しています。	
			経営コンサルタント	個人の確定申告後も、売上なども増えない。	
			広告・デザイン	工事物件、見積り依頼件数が増えていない。	
			食料品製造	食品その他生活物価が高騰している。	
			県南	電気機械製造	業種により相変わらず注文をたくさんくれる所と、減らしている所がある。地域別では日・米は良いが、ヨーロッパが一息ついてきた。忙しかった昨年に比べ仕事は1～2割減です。
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	ガソリン価格の一時的値下がりがあったものの、食品をはじめとする生活必需品価格の値上がり、社会保険料問題も含めて生活防衛力は強く、ファッション高額品の販売数量は減少傾向。	
			卸売業	一連の値上げに対して消費者の買い控え等がみられる。	
			住宅建設販売	青森を代表する建設業者の倒産。あれだけ県内トップ企業、優良会社が受注減による倒産はおどろき。	
			商店街	値上げラッシュで消費が冷え込むことが明らかだ。	
			レストラン	送別会がありましたが、人数的には変わらないのですが、1人当りの予算が少なくなっている。	
			美容院	商品の売り上げにかげりが見えている。	
			旅行代理店	当社の旅行商品の内、従来の高価格商品よりも、少し割安感の商品が売れている。	
			観光型ホテル・旅館	私達、観光飲食業は、特に冬期間はとてもきびしい時期。又、原油価格の高騰でコストが大幅に上がるが、宿泊単価は変わらない為、とてもきびしい。	
			津軽	パチンコ	アメリカのサブプライム問題に始まり、株価下落、日銀総裁不在等先行不安な要素がありすぎる。その結果、必要以上にお金を使わなくなっている。
				タクシー	1回当りの平均客単価が低下している。1台当りの1日1車金額が低下している。
		美容院		政治不安、物価高、高齢福祉、円高、株価などすべてが景気を押さえ込んでいる。	
		衣料専門店		・灯油の高騰。 ・地域の格差。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	住宅建設販売	取引業者、知人が倒産、廃業している人が多くなっている。又、支払い条件の変更等もでてきている。
			卸売業	企業の倒産情報などから。
			商店街	商店街への来街者状況からみても、景気の上向き傾向は見受けられない。油の高騰の影響が消費を圧迫しているのも大きな要因と思われる。
			旅行代理店	物価上昇の懸念による消費の落ち込みが予想される。
			設計事務所	公共工事の少なさと物価高を考え、一般消費者の建築物に対する投資が極端に少ない。
			都市型ホテル	各種会合の少人数化、予算（客単価）の低下が多く見られま す。顧客の利用頻度が落ちている（同業者からの見解）。
	県南		衣料専門店	1月から4月の売れるべき重衣料（スーツ、コート）の売れ行きが著しく悪かった。
			美容院	来店回数が減っている。1ヶ月以上も長引いている。店販品も売れない。
			ガソリンスタンド	特に建設業が悪いようだ。
			スーパー	実態の消費はおちていないが、余りにもTV新聞等での報道が暗い情報ばかりである。（物価高、ガソリン、株他）心理的に買控えになってきていると思います。
			一般飲食店	政治の混乱による地方への不安、現時点においても大変なのに、更に駄目になる材料ばかり。これじゃ景気が良い方向に行くわけがない。
			旅行代理店	原油高騰・高止まりによる灯油、ガソリンの値上がり、石油関連資材、商品等の値上がりにより個人、法人を問わず生活、経費の負担が増している。
			一般小売店	今月、青森県内最大手の建設会社が倒産した。知人の建設関係者は景気の良い地域に出稼ぎに行く人がすごく増えていると話していた。
			タクシー	殆どの仕事が3月で終わり、繋ぎの仕事をどうするかで悩んでいるようだ。
			卸売業	石油高騰により、各製品の値上げラッシュであり、消費が停滞している。
			スナック	街の人通りが少ない。
	下北		一般小売店	食料品等、身のまわりの物が値上がりしている中、土木・建築関係の方は一同に仕事が無いと言います。所得が増えないのに値上がりばかりでは景気は下がる一方だと伺います。
			スナック	物価の値上ラッシュで家計が苦しいと思われます。
	企業	東青	建設	公共関連投資が益々先行きが見え難くなってきている。
食料品製造			原材料価格の高騰による小売価格の値上げが着実に進んでいるが、それに見合う消費者の所得が増えていないため、消費マインドが冷め切っているのではないかと。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	東青	広告・デザイン	・不景気に伴う広告予算の減少。 ・公共事業予算の縮小。 ・広告費の効率的投下を目的とし、予算の見直しやカットが進んでいる。
			津軽	飲料品製造
		県南	経営コンサルタント	原材料、燃料費の高騰や大企業の収益低下や設備投資の繰延べなどが懸念される。
			紙・パルプ製造	エネルギー及び購入諸資材の価格が上昇を続ける中、コスト上昇分の製品価格への転嫁が思う様に進まない状況であるため。
			食料品製造	経済活動全体のコスト上昇に対して所得、特に可処分所得が増えていない為。
		飲料品製造	価格ありきで店頭販売している商品でさえも相当動きが悪くなっている。	
	雇用	東青	人材派遣	正社員化が上向き情報を耳にするが、県内の新規求人状況から全般的に減少傾向にある。又、個人消費については、製品・食品等の値上げの影響から消費減傾向が見られる。
			津軽	人材派遣
			新聞社求人広告	1月(3ヶ月前)比、前年同月比とも低迷。
	悪くなっている	家計	東青	ガソリンスタンド
設計事務所				建築に関する法改正により申請業務に費やす手間と時間がかかるようになり大きな負担になっている。ここに来てじわりと業界に重くのしかかっている。
都市型ホテル				青森は例年冬期間は経済も停滞するが、原油高、食品飲料等の高騰が更に拍車をかけている。
スナック				お客様からのお話です。全体が悪いお話で、皆様悩んでおります。景気が良い会社って有るのでしょうか。中には不景気知らずの会社は有ると思いますが・・・。私達の飲食業は全く駄目です。
タクシー				ガソリン価格は一時的に下落、再上昇が見えている。穀物輸入値上昇による生活に直結する食品の価格等々の上昇による買控え、電力・ガスの値上げ、保険料負担と景気回復しないまま青森の景気はまだまだ下降の一途をたどる。
津軽			一般飲食店	下向きです。所得水準の低さ。
			ガソリンスタンド	原油高プラス暫定税率問題で私たちガソリンスタンドは政局に振り回られ、多大な損害を被った。
			コンビニ	社会保障制度(高齢者医療制度など)の貧困化による可処分所得の低下がさらに見込まれる。
県南			パチンコ	卒業・入学と春先は出費が高む時期でもあるが、お客様の年齢層が高いため、高齢者医療制度保険料・食料品他全般の値上げ等々で、娯楽に出費する余裕がなくなり、来店数が3月にはいって極端に減少している。
			商店街	仕入れ単価が値上げしているため、商品の売値も上げざるを得ない。したがって、消費者の買いおさえがある。

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	県南	観光名所等	4月から、いろいろな物が値上がりするそうです。ガソリンは下がっても、他が値上がりするのは・・・。収入は変わりません。
		下北	タクシー	バイオエネルギー等の問題が影響しているのでしょうか。消費物資が高騰し、消費の手控えが感じられます。タクシー乗車率も落ち込んでいます。
			コンビニ	灯油、ガソリンの値上り、食料品の値上り、生活防衛のため、安い店・ディスカウントストア等へ客足が向いている。
	企業	東青	経営コンサルタント	好調な業種は見当たらない。個人消費も大型店中心に弱い動き。建設業も受注減から低調。運送業も苦しい。全般弱い状況と見る。
		県南	建設	財政再建による公共工事が年々減少の一途であるが、更に道路特定財源の暫定税率の期限切れにより、発注予定分の一時凍結がすでに決まっており、第一四半期は近年最悪の事態になると思う。
			広告・デザイン	年々、仕事の量が減少しているとともに価格競争が激しく利益の薄い仕事が多い。又、倒産や閉店も多く、今まで仕事があったものがなくなっている。
		下北	食料品製造	原油の高値に引っぱられ、20年々明けからお客様の買物動向がぱっとしない。
	雇用	東青	新聞社求人広告	市内トップクラスの建設会社の自己破産による連鎖倒産が懸念されるほか、地場企業に元気がない。
			新聞社求人広告	食品等の値上げ、ガソリンの値上げ・値下げに振り回されている。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	本年度、ツアー客の予約が好調で、旅行に出るお客様が増えていることから、景気が良くなってきている気がする。	
			レストラン	やはり、1・2月よりは、花見などのシーズンになるので、少しは忙しくなっているのでは。	
		津軽	一般小売店	昨年4月より、当店ではポイントの添付率を引き下げ、商店街のスタンプも率が悪くなり、売上げ面では1年間沈下し続けてきたため、今後3ヶ月先の予想は少し良くなって欲しいと思っています。	
		県南	美容院	卒業・入学・入社など家財や転居で家族中が振りまわされているが、4、5、6月と安定して来る事を考えての予想。	
			一般小売店	値上りした灯油を消費するシーズンを越した事と、ガソリンが一時的ではあるが値下りした事の2つで多少なりともプラス材料となるのでは。	
			コンビニ	やや良くなってほしいという希望で記入はした。ガソリンも一時は値下りするも、お客様(ガソリンスタンド店員)に聞くと、まだ一時値上りをするかも!という話もあり、今後の移動マーケットでとらえると、早期での行楽移動シーズンが予測される為、店側も、それに合わせての行動を取って行く必要がある。	
	雇用	県南	新聞社求人広告	値上げも落ち着くと思うので、期待感も込めて良くなってほしい。	
変わらない	家計	東青	一般飲食店	努力して現状維持。	
			パチンコ	4月新年度であっても、公共事業や身近に設備投資が見られない。	
			住宅建設販売	物価上昇にともない民間給与増しなけばならないが期待薄。	
			乗用車販売	この状態がまだまだ続くと思う。	
			スナック	良くなっているか、悪くなっているのか見当が付きません。毎日毎日不安でどうしようも有りません。とにかく自分なりの努力をして頑張るのみです。だけど何時まで苦しい大変な毎日が続くのでしょうか。	
			観光型ホテル・旅館	観光シーズンとなり、動きが出ると思うが、コストが上がる一方、宿泊単価が下降傾向にある為、何とも言えない。今、問題になっているガソリン税の動きで客足が左右されそうです。	
			旅行代理店	ガソリンも安くなり、GWなど車利用の旅行が期待出来そう。	
			津軽	百貨店	日々流れる小麦の値上げや原油価格等の報道や商品の値上げをシビアに受けとめている現状。プラス要素が見あたらない。
				パチンコ	良くなる要素が見つからないし、悪くなる要素も今は見当たらないが、田舎なので、農家の方々次第という所もある。
				衣料専門店	第1産業のリンゴ農家、今期、平年に比べて収入多い。
		家電量販店		資源、エネルギー、農作物の国際的インフレ。	
		スナック		団体で来店する以外は、1人で飲みに来るお客様が増えるとは思わないです。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	一般飲食店	同業店（飲食店）の増加。
			住宅建設販売	春の気候で多少気分的には明るくなって来ているが、物価等の上昇で、その気分を吸収している様である。
			観光型ホテル・旅館	景気が良くなる要素が見られないから。
		県南	タクシー	これといった起爆剤になるようなものが見当たらない。
			設計事務所	行政が景気対策をしない限り、良くなる要素はないので変わらないと思う。
			一般飲食店	良くなる材料があまりない。季節的な物は多少あるが、今の政治状態じゃ良くなる可能性は疑問だ。
			観光型ホテル・旅館	底堅い印象も見受けられるが、原材料等の値上げのインパクトがじわりと効いてくると思われる。
			住宅建設販売	原油税の問題や政治の件について不透明な部分が多く、お客様も見通しが立たない。またマスコミによるそういった報道も原因かと思う。
			商店街	景気悪化が続いていると思います。
		下北	ガソリンスタンド	物価の高騰により、商品の買い控えなどによる景気の低迷が予測される。
			企業	津軽
広告・デザイン	新規工事、リニューアル工事等、特段多くなってくる見込みがない。			
雇用	津軽	県南	食料品製造	経済活動全体のコスト上昇に対して所得、特に可処分所得が増えていない状況が大きく好/悪化すると思えない為。
			新聞社求人広告	春の行楽シーズンに期待したいが、景気が上向く要素が見つからない。
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	・現状が長期化することによる景気悪化。 ・食品（グロッサリー、生鮮三品）の価格競争の激化による事業規模縮小及び企業倒産の発生、さらなる景気減退。
			衣料専門店	青森市は県庁所在地で公的機関が多く公務員人口、安定収入人口が県内他都市から見ると多いわけですが基幹産業がありません。地域性を生かし中央企業支社、支店が多かったわけですが最近の統合、廃止から流人口の増を考えると景気がよくなるとは考えづらい。又、流通業を考えると郊外型の商業施設増が売上拡散を招き坪効率を下げる結果になっている。
			家電量販店	人口が毎月減少していく中での競合店進出、お客様の奪い合いが激化。
			ガソリンスタンド	相次ぐ建設会社の倒産により、下請け業者の資金繰りが悪化する。
			卸売業	一連の値上げに対して消費者の買い控え等がみられる。
			美容院	少しでも安値の商品をインターネット販売などから購入されているお客様が少し増えている。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	タクシー	食品価格の値上ラッシュで家計の財布のヒモがきつくなると思う。
			商店街	商店街を取り巻く環境はより厳しさを増す事が想定されることから、むしろ下降線をたどるものと推察される。特に物価の高騰は消費者の買物控にさらに拍車がかかると思われる。
			設計事務所	道路特定財源がどの様になるのか、暫定税率（ガソリン税）が復活するのか流動的状況の中で景気が良くなる要素がみあたらない。
			卸売業	公共事業、公共工事のさらなる減少から。
			旅行代理店	政府の施策による医療費、公共事業の発注問題等の理由による。
		県南	レストラン	材料費の高騰により、今以上に経費がかかり、経営状況が悪くなると考えるから。
			衣料専門店	株価の下落が思っていたよりも長引き、あらゆるものの値上がり暮らしに対して不安感を高めている。良くなる要因がみつからない。
			観光名所等	4月1日からの原材料等の値上げにより、店の商品も値上げ、もしくは、個数を減らさざるをえません。お客様のサイフのヒモも、固くなる様な気がします。
			スーパー	物価高は予想以上になると思います。
			旅行代理店	サブプライム問題とこれに起因する原油高、円高、オーストラリア他の異常気象等による食料品その他の生活関連商品の値上がりが続いており、生活防衛のため消費手控え傾向になっていくことが懸念される。
	ガソリンスタンド		特に建設業が悪いようだ。	
	百貨店		いろんな意味で将来に不安で、消費マインドは上がらないと思われる。	
	スナック		新しい店ができていくがシャッターが降りている店が多い。	
	卸売業		政治の混乱、値上げ等により、今後はさらに消費が悪化することが考えられる。	
	下北		スーパー	傾向的景気改善の要素がない。食品の値上に対しての買い控え。
		レストラン	人間だけでなく、牛・豚・鶏のえさがなく酪農家の失業が増えるのでは。みんな、大変ですね。	
		一般飲食店	よくなる見通しが一向に変らないし、まだ悪くなるのではないかと思います。見通しがたちませんので、必死に頑張っているのですが、世界中が不景気なので（一部を除いて）、困った事だと思います。	
		スナック	建設業が悪いので全ての業種に波及しているため。	
	企業	東青	食料品製造	原材料、小売価格はそのまま高値で推移すると思います。
			建設	いわゆる「道路特定財源問題」によって、発注の見送りが続くと思われる事から。

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	企業	東青	広告・デザイン	・紙代の値上げによる印刷原価の負担増。 ・個人消費の伸びが不透明。 ・G8開催に伴いパチンコ業界の広告出稿自粛。	
			津軽	電気機械製造	原材料は高値で推移し下がる見込みがない上に、今後円高の影響で受注が減少する可能性があるため。
				経営コンサルタント	弘前については、5月の連休の桜の時期が早まりそうなどで、商店の売上の減少が予想される為。
		県南	電気機械製造	米国の金融問題の他にも小さな同様の話は日本にもあり、現在は調整局面に入ったと思われる。材料の高騰や入手難もあり「無理して仕事しても利益に結びつかないので断ります」といった話が増えてきた。	
			経営コンサルタント	原材料、燃料費の高騰や大企業の収益低下や設備投資の繰延べなどが懸念される上に、政治の停滞、世界経済の悪化などムードが悪すぎるため。	
			飲料品製造	これから徐々に値上げという事になり、消費もおさえられるだろうから。	
			紙・パルプ製造	更なる原燃料価格の高騰が続くと予想され、企業業績の圧迫と最終消費財の価格上昇による家計への影響が拡大すると思われるから。	
	雇用	東青	人材派遣	企業においては、株価下落や原料費の値上、あるいは国の景気対策の遅れから業界によっては連鎖倒産が増える見込みがある。消費に関しては、値上げの影響から個人消費を押しやる傾向が続くのでは？	
			津軽	人材派遣	4月からガソリン税の暫定税率の期限切れにより、実質ガソリンが25円程度値下がりした。しかし政府は再度値上げを検討するとの話も。このように先が見えないことに国民は不安を感じている。このようなことでは消費は増えないし、景気は良くならないと思う。早急に政治的に安定することを願う。
		悪くなっている	家計	東青	競輪場
商店街	市内の複合商業施設がオープンし、郊外店同士の競合が際立っていますが、やはり中心市街地への影響も少なくないと思われる。				
都市型ホテル	まったく先が見えない状況にあり、道路等の税金問題で更に悪化しそうだ。				
設計事務所	好転する材料はまったく見受けられない。				
一般小売店	原材料の値上、品不足。				
タクシー	先般、新聞に県内の所得（年収）が記載されていたが、中央と比べるとタメ息が出る。若年の流出、高齢化に向かっていくと、ますます景気回復に期待する事が出来ない。				
津軽	都市型ホテル				暫定税率の失効に伴い、先行の不安による消費者の萎縮が続くと思います。
	美容院			アメリカの不景気にどこまでも引きづられそう。	
	観光名所等		諸物価の値上がり。		
ガソリンスタンド	アメリカの景気衰退、原油上昇による物価上昇、何か良くなる様に見えますか？				

先行き	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	津軽	コンビニ	社会保障制度（高齢者医療制度など）の貧困化による可処分所得の低下がさらに見込まれる。
		県南	パチンコ	可処分所得が減ることはあっても増えることは全くあり得ないし、お客様も娯楽費にけることを控えるのは確実と思われる。
		下北	タクシー	例年であれば5～6月の観光予約が多く入る予定が今年はかなり少なく、全国的な景気の落込みと思われます。
			一般小売店	ガソリンの税率が一時下がって、家計は助かると思いますが、公共事業に頼る下北では公共事業にストップがかかってしまえば、収入はますます減るばかりです。国・県の予算に左右されない大きな工場でもあれば別ですが・・・。
			コンビニ	春になって灯油等の消費が下がって、金額的なものは減ると思いますが、もともと少ない給料でやっているの、消費は上向きにはならないと思う。
	企業	東青	経営コンサルタント	2008年県当初予算は7,000億円台とマイナスが続いており、加えて揮発油税の暫定税率の失効に伴い公共工事に期待ができなない。物価の上昇に賃金については行けないので個人消費の低迷は免れず、今後県内景気は更に弱いと見る。
		県南	広告・デザイン	お客様の状況を見ても、社員の解雇、設備投資の中止など負のお話が多く、広告等に予算をさかなくなっている。
			建設	財政再建による公共工事が年々減少の一途であるが、更に道路特定財源の暫定税率の期限切れにより、発注予定分の一時凍結がすでに決まっており、第一四半期は近年最悪の事態になると思う。
		下北	食料品製造	4月からの生活必需品の値上げの反動で他の商品の買い控えがおこると思うから。
	雇用	東青	新聞社求人広告	明るい材料が少ない。
求人情報誌			景気回復要素が見あたらない。	

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	33.7	35.4	32.8	24.2	20.5
家計関連	32.5	35.5	32.1	23.6	20.9
小売	31.7	33.3	32.8	20.8	23.3
飲食	31.8	43.8	25.0	31.3	25.0
サービス	35.6	35.6	36.1	25.0	15.7
住宅	25.0	29.2	25.0	15.0	25.0
企業関連	43.1	34.7	36.1	27.8	20.8
雇用関連	21.4	35.7	32.1	21.4	14.3

回答別構成比 (%)

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	6.1	11.1	9.1	3.0	1.0
どちらとも言えない	42.9	37.4	31.3	24.2	15.2
やや悪い	30.6	33.3	41.4	39.4	48.5
悪い	20.4	18.2	18.2	33.3	35.4

地区別 D I

	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月
合 計	33.7	35.4	32.8	24.2	20.5
東青	32.5	30.0	34.2	20.8	15.8
津軽	31.7	35.0	25.8	21.7	21.7
県南	35.7	37.9	40.5	31.9	25.9
下北	37.5	45.0	27.5	20.0	15.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	郊外がどんどん開発され、土・日はとくに人の流れがそちらへむいています。青森市の未来図はどうなっているのか。地区、地区の開発で市は発展するのでしょうか。とても不安です。
		スーパー	昨年の秋の郊外の商業施設オープンに加え、3月にも同地区に新規商業施設がオープンし、その影響が市内全域に波及しているのではないかと。
		衣料専門店	郊外商業集積が4月にオープンし、郊外施設の新規開発はひと段落。中心街区も大型百貨店改装オープン、元菓子店跡に飲食店が開店など青森市の商業施設は新幹線開通に向け活性化しています。エリアとしても中心街区に対し郊外施設まさしく南北戦争。青森市は既存の商圈以外からの集客に期待できると思いますが、ただ1点気になることは、二年前から導入された交通監視員制度、当局発表の「検挙率増」、「渋滞解消」、発表は結果良好に受け止められるが、国を挙げて取り組んでいる活性化に逆行しているように感じられます。「中心街区へは車では行けない」との風評被害は日増しに強くなり、「買い物しづらい地域」と思われていることです。従来からお客様には「共通駐車券」を発行し、駐車場利用を促進しております。中心街区での駐車場30分無料化に向けた実験も始まっており交通行政と両輪の活性化を願いたい。
		家電量販店	ホームセンター業界では、ここ3ヶ月間に3件のM&Aと1件の自己破産がありました。
		レストラン	これからは観光シーズンになるので、いかに県外のお客様に来ていただけるかをテーマにいろいろ考えていきたいと思う。
		スナック	国会議員、県議員、知事さん、市長さん方に何とかしてほしいです。私達県民の痛みを真剣に考えて下さるように節にお願い致します。
		観光名所等	最近、中国食材が問題になっているが、中国の中でも安全・安心な食材が豊富にあるのに、一部の事件のせいで、中国食材全体のイメージが悪くなってしまっているのが残念に思う。
		旅行代理店	市内の大手旅行会社が青森県・東北から撤退した。
		タクシー	地産地消の言葉を聞くが、またスーパーでも地元の食産品が目につく様に成っているが、第二次、第三次産業がない青森の将来が心配だ。
		美容院	さまざまな制度に対する不満の声など、急な制度の変更など知らないうちに変わりすぎる。
		パチンコ	とにかく悪いという感じ。
		競輪場	社員間での飲食及びレクリエーションに対する話題すら出なくなった。
		住宅建設販売	建築資材の高騰による仕入単価増加も、市場の住宅価格競争激化により倒産会社の増加ととらえ、今後はよりきびしい。
		津軽	津軽
一般飲食店	この時期、桜の開花で一喜一憂。開花が早いので、花見ツアーのキャンセルが多い。		
観光型ホテル・旅館	団体客（特に地元）の支払いが遅れがちである（当日支払いをしてくれない）。		

分野	地区	業種	自由意見	
家計	津軽	観光名所等	弘前周辺のホテル開業ラッシュ。	
		旅行代理店	明るい情報などを書きたいが知る範囲では全くなし。	
		美容院	これでまたガソリンが高くなったら・・・不安!!	
		ガソリンスタンド	青森県の人口減少が予想以上に早いのに、なぜ大型ショッピングセンターを規制しないのか？中心から先に限界集落になるのでは？	
		設計事務所	政治家といわれる人達がいかに保身的な人間が多いか、国民が大人になっていない。	
	県南	コンビニ	まだまだ値上がりは多方面で続くと思われるし、今、問題となっている県や市での不正問題！いったい何の為の徴収税課なのか。何の為に苦勞して働いている人の税金でそういう事が出来るのか！！税金の高騰など一般の経営者は、特に国税問題で悩まされている！何とか改善出来ないものか？	
		乗用車販売	暫定税率問題により先行きの見通しが分からず消費等にも迷いが生じてくる。	
		一般小売店	中国の食材農薬混入事件で農産品の国内依存が急に高まったものの、農産品は単年度の急な対応は出来ないと県内の農家の人がニュースで語っていたが、農家にとってこれを1つのチャンスと捕らえて、大手スーパーや食品会社の契約を有利に変化させて行って欲しい。	
		卸売業	物価が高騰し、所得が増えず、より厳しい状況が予想される。	
		一般飲食店	他県に見られる県のトップの手腕が問われるのでは。トップのアクションに期待。	
		レストラン	郊外の料飲店舗が増えて来ている。	
		スナック	県の方達も考えてほしい。協力・努力してほしいです。	
		観光名所等	駐車場が広いのですが、お昼時間になると、車でいっぱいになります。買物客ではなく、お弁当を食べる人たちで。最近、特にそうです。食堂でお昼ご飯を食べるより経済的だからかなあと思っています。私も、毎日、頑張っ て、主人に弁当を持たせています。	
		タクシー	政治が不安定で、全く不信感のみである。	
		美容院	政治の混乱が落ちつき、行き先が決まれば、日々も安定すると思うが、消費生活者に色々な負担増がのしかかって暗い材料になっている。	
		パチンコ	私の周りに会社吸収合併、閉鎖により解雇され、働きざかりの男性でも工場 でパートという保障のきちんとしていない立場におかれている方達がいま す。先日東京に行く機会があり、銀座に行きましたが、中央と地方との景気 の差を感じてきました。	
		ガソリンスタンド	増益の企業の話聞かない。	
		設計事務所	ゴルフ場がどこもサービスを落としている。これは（全体に景気が悪く）競 技人口の減少が響きゴルフ場の経営を圧迫しているのでは？	
		下北	コンビニ	求人を出しても人が集まらない。時給を上げてても時間帯でこない。若い人が 働こうとしない。20才をすぎても親のスネをかじっている。そうでなければ、 求人はいっぱいあるのに、失業保険をもらってパチンコに行っている。 こんな状態で、景気が上向くとはまったく思わない。

分野	地区	業種	自由意見
家計	下北	一般飲食店	青森県は特別なのか分かりませんが、特に下北が不況なのでしょうが？国がどうにもならないのですから本当に腹立たしいです。50年も同じ商売をやっていますが初めてです。
		レストラン	日本の自給率は35%。国内の生産に期待している。
		タクシー	むつではショッピングセンター等量販店の出店が更に見込まれています。期待しているのですが？
		ガソリンスタンド	ガソリンの暫定税率期限切れに伴う旧価格の在庫分の前倒しの値下げによるガソリンスタンド業界のダメージが大きかった。
企業	東青	食料品製造	消費者のフトコロが寂しいとは言え、本当に必要な物には高いお金を払って買っている人が多い。逆を言えば、重要性の低い物に対してはムダな出費をしないということです。メーカーにとっては厳しい状況が続きます。
		建設	今年度は多くの建設業者の倒産があると思われる。
	津軽	食料品製造	当社としても値上げ問題=死活問題である。収益が圧迫され増収が期待できない。多分たいていの企業がそうなのではないか。
		電気機械製造	北京オリンピック以降は仕事量が減少すると言われていますが、チベット騒乱の影響で減少する時期が早まらないかと心配です。
		建設	ガソリンが4月に入って一時的にせよ安くなった事は大変うれしい。しかし、他の物が値上りしているのは困ったものだ。これからどうなっていくのか心配だ。
		広告・デザイン	先日、青森市内の建設業者2社が倒産した件で、関連下請業者の連鎖倒産も有るとの事。いつまで、この様な状況が続くのか、競争での淘汰はすでに終えたと思っていたが。
	県南	食料品製造	第一次、第二次オイルショックの時の買い占め、買い控えが再現されている。しかし、経済のグローバル化で以前より先行き不透明感強い。
		飲料品製造	暫定税率の失効により、一時的にガソリンが安くなっているが、これからの影響が心配である。
		電気機械製造	自動車産業の東北進出が相次いでいる。本当に軌道に乗るのは、九州の例をみると、約10年後。青森も人を育て企業を育成していけば、今からでも間に合うと思う。県のイニシアチブと民間の協力を期待したい。
		建設	建設業界においては、一般競争入札へと拍車がかかっていることから、これまで入札に参加したことのない県外業者が参入し、落札率の一層の低下をまねいており、更に収益悪化の原因となっている。このままでは、事業継続が成り立たない業者が多発する可能性が大である。
		経営コンサルタント	諸物価の高騰でインフレーションの懸念があるのでないか。
		広告・デザイン	様々な値上げが続き、経済状況の悪い中、昇給やボーナス等も出せない会社が多くなっているばかりか、資金繰りも大変で、実質倒産に近い状況の会社も多く見られる。
雇用	東青	新聞社求人広告	道路特定財源を巡る国政の混迷、年金、後期高齢者医療制度導入、将来の消費税アップへの不安などで閉塞感が漂っているように思える。
	津軽	人材派遣	最近、毎日食卓にあがる数多くの食品が大幅な値上がりをしている。所得は増えていないので、品数を減らしたり、安い物に変えるなどして節約をしている。
		新聞社求人広告	地元企業、商店の疲弊感が大きい。